

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 市ヶ尾駅前保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：本間 純子	定員（利用人数）： 56名（54名）
所在地：〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町1153-3 第2蕪木ビル2階	
TEL：045-973-8944	
ホームページ： https://www.benesse-style-care.co.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 1994年10月6日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員： 13名
専門職員	保育士 17名	看護師 1名
	小学校教諭免許 1名	栄養士 3名
	調理師 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室3室、事務室1室、厨房1室、職員休憩室1室	

③理念・基本方針

『その子らしく、伸びていく。』

保育理念：よりよく生きる力(Benesse)の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます

保育目標：1. 自分で考え、すすんで行動する子ども

自分からすすんで物事に取り組む態度を持ち、意欲をもって最後までがんばる子ども

2. 友だちと楽しく遊ぶ子ども

さまざまな人とかかわることの喜びを知らながら、楽しく遊べる子ども

3. 感性豊かな子ども

さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

保育方針：①子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます

②自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります

③深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します

④身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

④施設・事業所の特徴的な取組

乳児期には、特定の保育者とのかかわりを大切に、子どもが安心して信頼できる大人との愛着関係を育みます。幼児期には保育者との関係を基盤とし、子ども同士の関わりが深まり生活集団を異年齢で構成して自立心・社会性を育みます。子どもが主体となって生き活きと過ごせるよう、子ども一人ひとりに合わせて丁寧な関わりを行い、安心して子どもを預けられる保育園となるよう保護者の気持ちに寄り添います。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月12日(契約日)～2022年1月17日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	2回(2016年度)

⑥総評

◆特に評価の高い点

1.子どもがケガをしにくい体づくりに取り組み成果を得ています

昨年度より、子どものケガが増加傾向にあることを課題として、ケガをしにくい体づくりに取り組んでいます。楽しく遊びながらできる運動遊びとして、幼児クラスではマット、跳び箱、巧技台、鉄棒などを活用して体の発達を促しました。乳児は散歩先の公園の自然の中で、走ったり、坂道を登ったり、探索しながら歩き回ったりして運動機能の発達を促しました。これらの取り組みによって、明らかに子どものケガの件数が減少しています。

2.保護者の声は真摯に受け止め、より良い保育を目ざすために反映しています

法人や園は保護者の声を把握し、保育に反映する取り組みを行っています。日々の保護者とのコミュニケーションで保護者の声を聞き取ることに努めているほか、法人による保護者アンケート(CSアンケート)等の結果に基づいて毎年度ごとに分析し活用しています。保護者の声による改善事例として、0歳児、1歳児、2歳児が同じ玄関を使っていたため登園時間帯が混みあっていた状態を2歳児の出入り口をテラス側に変更し混雑を回避しました。またコロナ禍では幼児クラス内で密が発生しやすくなっていたため、キャビネットを移動して保育室を広く使い密を避けられるようにレイアウトを変更しました。保護者に対する子どものケガの報告について十分でないとの指摘に対しては、記録方法を改善するとともに、園でのケガなのか自宅でのケガなのかを明確にするよう朝の視診や記録方法を改善した経緯があります。

3.法人が目指す保育理念に基づき、子どもの主体性を尊重し育てる支援をしています

子どもたちの主体性を尊重する特徴的な取り組みに行事運営があります。3歳～5歳児の異年齢での活動の中では子どもたちによる「子ども会議」を行い、行事のテーマを決めて何をやるかを決めています。今年の秋まつりは「みんなで楽しむ」をテーマに子どもたちから提案のあったさまざまな食べ物屋さんごっこをやることに決め、ほとんどの準備を子どもたちが行いました。子ども会議では乳児でもできる遊びを考えて準備もしました。また、「できることをみんなの前で披露する」と決め、披露したい子どもはダンス、おりがみ、駒回し、マジックなどを披露して達成感を味わい、その姿を見てそれまでみんなの前に出ることができなかった子どもも前に出て披露する姿も見られ、子どもにとっては新しい経験になり自信にもつながりました。

子どもからは保育者が驚くようなアイデアが出ることも少なくありませんが、発想を尊重し子ども主導で行事運営できるような援助を行っています。

◆さらなる取り組みに期待する点

1.園の特徴をより詳しく外部に発信されることが期待されます

法人では理念や方針のもと、系列園共通で目指している保育についてホームページで分かりやすく紹介しています。当園については「仲良しパワーを感じる保育園」とし、保育園だよりとして行事の様子などが写真を用いて紹介されています。しかしながら、日常の保育や環境など園独自の特徴を把握しにくいいため、「ベネッセ市ヶ尾駅前保育園」をより知ってもらえるような情報発信が期待されます。

2. 障がいのある子どもの受け入れ体制の一層の充実が期待されます

園では障がいを持つ子どもの受け入れを行い、その子どもの特徴に応じて療育センターの巡回指導で専門スキルを学んだり、園内で検討して最適な保育を提供できるよう取り組んでいます。また、他の子どもに受け入れられ落ち着いた生活ができるよう支援を行っていて、子どもたちは育ちあっています。今後は、障がいを持つ子どもや配慮が必要な子どもの保育ニーズにより柔軟に対応できるよう職員の理解を一層すすめることが期待されます。また保護者に対しても、保育園が様々な子どもを受け入れて園全体でより良い保育へと取り組んでいる状況を共有することが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審にあたり、職員一人ひとりが日々の保育を振り返りました。

改めて、保育者や保育園に求められている役割を様々な面で考える機会となり身が引き締まりました。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。アンケートの中で、「あなたのお子さんが大切にされているか・保育園生活を楽しんでいるか」の項目に高い評価をいただけたことは何より私たち保育者の励みになりました。私たちが日々の保育の中で大切に考えている「一人ひとりを大切に」の思いを今後も保育の軸とし、一人ひとりの気持ちに寄り添っていける園でありたいと思っております。

コロナ禍におきまして、様々な制限の中での保育は今まで以上に工夫が必要でした。また、困難な状況だからこそ保護者の皆様への発信も十分にしていける必要があると感じました。

ご指摘いただいた内容は施設環境も含め、今後の課題として改善に努めてまいります。

引き続き、子どもたちと保護者の皆様が安心できる保育園であるよう職員一同、努力し続けていきたいと思っております。

ベネッセ 市ヶ尾駅前保育園
主任 塚越 真由美

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり